

2019年度 事業報告書

(一般社団法人自在に係る事業報告)

自 2019年4月1日 至令和2年3月31日まで

従来は拠点を設けることで、対象児・者に学校・家庭以外のサード・プレイスを提供し、生きがいの創造及び自尊心の涵養に務めてきました。今年度はデジタル・システムの構築にも注力し、一人一人が『今』感じている想いや興味を持っていることを写真や動画といった媒体を通して表現し、それを発信・共有することで、参加者の共感性を育むことを目的に運営。特にひきこもりの学生など従来の支援ではアプローチが難しかった層への対策として期待され、バーチャルな交流から親睦を深め、対象児(者)の社会的孤立の解消や家庭支援に繋げていくといったケースマネージメントも視野に入れた活動を実施してきました。

地元横浜の大学生が中心となり、青少年に学校・家庭以外のサードプレイスとなる居場所「つきしみの学校」を提供し、他者との関係性を大切にしたコミュニケーションで及び自尊心の涵養に努める無料の青少年支援事業を2014年より受け継ぎ活動してきました。

今年度も他者とのコミュニケーションが持てる「場」に集うことが困難な引きこもり傾向のある対象児・者は孤独感や疎外感や不安や現状を受け止められず鬱的な状態にことも少なくありません。そこで一人一人の家庭を訪問することで、支え合い・繋がり合う事業(「地元の野菜」等の宅配を通して家庭の状況や個人の困りごとの御用聞き)を次年度の新規事業として立ち上げるためのネットワークづくりに取り組みました。一人でも多くの子どもたちやその家族が繋が合い、支え合っていける環境の構築を目的にデジタルシステム等も活用して新しい生活様式に合わせた”つながりを創る事業”の構築に務めました。

① まちの交流拠点「ひらがな商店街アートスペース「と」」に関する事業

- ・ 内容：カフェの運営・ギャラリー運営・レンタルスペース運営
一まちづくりを軸とした自立支援一
- ・ 日時：通年（年中無休 10：00～21：00）
- ・ 場所：ひらがな商店街アートスペース「と」他
- ・ 従業者人員：2人
- ・ 利用者数：アーティスト・青少年・地域住民及び関係者 延べ800人

② 無料の学習支援「つきしみの学校」事業

- ・ 内容：小・中・高生のための無料の学習支援及び相談（当事者及び保護者）
- ・ 日時：通年（毎週土曜日 15：00～18：00）他イベント開催日時
- ・ 場所：ひらがな商店街アートスペース「と」他屋外活動
- ・ 従業者人員：3人（横浜市立大学学生及び横浜市立大学OB・地元高校生）協力者：地域住民
- ・ 利用者数：近隣小中学生 延べ250人

③ 就労支援等相談事業

- ・内容：青少年のための無料の進路相談及び就労支援相談
- ・日時：通年（毎週土曜日 15：00～18：00）
- ・場所：ひらがな商店街アートスペース「と」
- ・従業者人員：5人（横浜市立大学学生及び横浜市立大学OB・カウンセラー）
- ・協力者：精神科医他2名
- ・利用者数：青少年 延べ150人

④ 企業とのコラボレーション事業

- ・内容：企業（南央ロータリークラブ等）との協働事業（地元農家との協働企画）
- ・日時：7月・11月
- ・場所：山本農園（保土ヶ谷）及びひらがな商店街アートスペース「と」
- ・従業者人員：2人
- ・協力者：10人
- ・利用者数：近隣小・中学生とその家族等 延べ180人

⑤ アーティスト支援事業

- ・内容：展示及びライブ：あおしぐれ(音楽ライブ)松井このみ(絵画) 吉岡京子(古典芸能)
レンタルスペース利用者：角津麻由(舞踏)弓野えり(ラッピング)浅木舞(ウクレレ)他
- ・日時：通年
- ・場所：ひらがな商店街アートスペース「と」
- ・従業者人員：2人
- ・利用アーティスト：述べ80名
- ・参加者：述べ300人

⑥ その他

- ・新規プロジェクト「地元農家との連携によるヨコハマ野菜（「食」への意識）の収穫とメンタル面のサポートを目的とした各家庭への野菜お届け+御用聞き事業「菜園プロジェクト（野菜を栽培・収穫・宅配・配信）」の構築のためのネットワークづくり